



浜松市

平成23年度 外部評価資料

資料番号	事業名	所管課
3-6	民有地緑化事業	緑政課

事業シート2

課コード: 002205000
担当組織: 緑政課

作成日: 平成23年5月30日
責任者: 永田正之

基本政策	課	政策	目	事業	
計画コード	12	01	0211	01	021102

款	項	目	事項	
予算コード	36	26	41	11

款	項	目	事項

事業名: 民有地緑化事業

事業費 (予算) (単位:千円)	22年度	23年度	比較	人工 (正規職員) (単位:人)	22年度	23年度	比較
	13,900	13,900	0		1.6	1.5	△ 0.1
23年度 事業費内訳 (単位:千)	需用費	委託料	工事請負費	公有財産購入費	負担金補助 及び交付金	扶助費	その他
	6,260	4,640	180		2,700		120

◆事業の目的

緑豊かなまちづくりを推進するため、生垣等各種樹木の交付及び民間事業所の緑化事業への助成を行う。

◆事業内容(平成23年度に何をやるか)

<豊岡苗圃管理業務>

各種樹木交付制度の樹木の交付業務を行うとともに、購入した樹木のストックヤード、屋上緑化用の地被植物の育成など苗木や資材等の安定した供給を図る。

<緑化推進樹木交付事業>

生垣用、緑地協定用、屋上や壁面の緑化用樹木、各種記念樹、地域の森等への樹木のほか、緑のカーテン用資材等の交付を行う。

<事業所緑化促進事業>

工場等の事業所に対し、浜松市事業所等敷地内緑化指導要綱に基づき緑化指導をするとともに、緑化の模範となる事業所に、必要な樹木等の資材の一部を補助する。

◆これまでの取組状況(平成22年度に何をを行い、その結果はどうだったか)

<豊岡苗圃管理業務>

各種樹木交付制度の樹木の交付業務を行うとともに、購入した樹木のストックヤード、屋上緑化用の地被植物の育成など苗木や資材等の安定した供給を図った。

<緑化推進樹木交付事業>

生垣用、緑地協定用、屋上や壁面の緑化用樹木、各種記念樹、地域の森等への樹木のほか緑のカーテン用資材等の交付を行った。

<事業所緑化促進事業>

工場等の事業所に対し、浜松市事業所等敷地内緑化指導要綱に基づき緑化指導をするとともに、緑化の模範となる事業所に、必要となる樹木等の資材の一部を補助した。

開始年度	終了予定年度	事業の性格分類	根拠法令等					
昭和 51 年	年	自治事務						
会計区分	戦略性	マニフェスト	事業の特徴	施設管理	指定管理	受益者負担	補助金	市民協働
一般会計	重点戦略			○			○	
行革審答申	外部評価	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
	*H20は事業仕分け	○						

(単位:千円)		H22	H23	H24計画	H25計画	H26計画	H23~26計
事業費	予算	13,900	13,900	13,900	13,900	13,900	55,600
	決算	12,877					0
財源内訳	国・県支出金						0
	市債						0
	その他	1,693	346	346	346	346	1,384
	一般財源	12,207	13,554	13,554	13,554	13,554	54,216
	*一般会計繰入						0
人件費(報酬等)		0					0
人件費		12,800	12,000	12,000	12,000	12,000	48,000
内訳	人工(正規)	1.6	1.5	1.5	1.5	1.5	—
	人工(非常勤)						—
	人工(再任用)						—
年間経費(事業費+人件費)		26,700	25,900	25,900	25,900	25,900	103,600

成果指標1 毎年10,000本の樹木交付							
種類	アウトプット(活動指標)	単位	H22	H23	H24	H25	H26
	目標	%	100	100	100	100	100
	実績	%	100				

成果指標2							
種類		単位	H22	H23	H24	H25	H26
	目標						
	実績						

◆事業の成果(平成22年度末時点での目的の実現状況 ※活動ではなく状態)

市民との協働で進める「花と緑のまちづくり」において、緑化に関心を持っている市民だけではなく、今まで関心を持たなかった市民に対して積極的に助成を行う制度があることで、自らが緑化に取り組もうとする契機として推進を後押しする啓発の意味を持ち、有効な取組みとして広く活用されている。(H22実績)

- ・生垣用樹木交付:4894本 ・緑化樹木交付:2057本 ・緑地協定用樹木交付:140本
- ・地域の森づくり事業:265本 ・誕生記念樹:626本 ・結婚記念樹:463本 ・屋上、壁面緑化:2件
- ・緑のカーテン:市民

◆評価(平成22年度事業の評価)

(1) 必要性: 継続

(理由)

緑に直接触れる機会を通して、市民の緑化に対する意識を高め実践に繋がっていく取り組みであり、樹木交付後に苗木から成木へと育てることを通じて、緑の重要性や効果を認識し、更なる民有地の緑化にも良い影響を与えることから、継続して推進する必要がある。

(2) 実施主体: 市

(理由)

花と緑豊かな都市へと市民意識の高揚を政策的に図るものであり、樹木交付や緑化に関する指導は市が担うべきものである。

(3) 選択と集中 現状

(理由)

民有地の緑化は、地道で継続的な取り組みが必要であることから、定着化してきた本制度を一層広がりを持たせることにより、着実に緑の都市づくりを推進するものである。

(4) 改善: その他改善

(理由)

樹木交付場所の増加や樹種の改善、事業所緑化制度の要綱改定などを進め民有地への緑化を進めてきたが、交付樹木の追跡検証をさらに行う必要がある。

今後の方向性 改善

緑に対して市民が関心を高め、実際に触れ育てることのできるこの取り組みは有効であり、助成に伴う効果も見込めることから本制度は継続するが、交付した樹木の状況について追跡検証を行うとともに、さらに時代に即した交付制度メニューの創設にも積極的に取り組む。

◆改革・改善(評価を反映して何を見直したか)

(1) これまでに実施した改革・改善(平成23年度予算で反映したものを含む)

- ・交付本数は、目標に向けて順調に推移している。広報はままつ区版に「緑の基本計画」に関する特集枠を確保して樹木交付制度の掲載をするなど、機会を捉え制度の周知に努めている。
- ・樹木交付本数 10,000本

(2) 今後の改革・改善計画(いつまでに何をどう見直す)

- ・緑豊かなまちづくりを実現するため、市民自らが緑化に取り組もうとする契機とするため、生垣等各種樹木の交付及び民間事業所の緑化事業への助成制度の活用を促し、着実に都市の緑環境の充実を図る。
- ・企業、市民とともに緑豊かなまちづくりを実現する。
- ・毎年10,000本の樹木を交付し民有地の緑化を進める。

補足シート2-①

	款	項	目	事項
予算コード	36	26	41	11 06

事業名：豊岡苗圃運営事業

事業費 (予算) (単位:千円)	22年度	23年度	比較	施設管理	指定管理	受益者負担	補助金	市民協働
		4,920	4,920					
23年度 事業費内訳 (単位:千円)	需用費	委託料	工事請負費	公有財産購入費	負担金補助 及び交付金	扶助費	その他	
		4,640	180				100	

◆事業内容(平成23年度に何をやるか)

約6,000㎡の土地に、圃場2,642㎡(育苗1,150㎡・定植床1,487㎡)を有し、約36,700株の育苗、約1,000本(距離では316m分)の生垣用苗木、関連する資材などの管理を行う。

◆これまでの取組状況(平成22年度に何をを行い、その結果はどうだったか)

生垣用樹木(4,894本)、緑化樹木(2,057本)、緑地協定用樹木(140本)、地域の森づくり事業(265本)、緑のカーテン用苗(300株)の交付用植物のストックヤードとして、また交付場所として機能を果たしたほか、コケの実証実験やモザイクカルチャー推進事業関連資材のヤードとしても活用を図った。

補足シート2-②

	款	項	目	事項
予算コード	36	26	41	11 11

事業名：樹木交付事業

事業費 (予算) (単位:千円)	22年度	23年度	比較	施設管理	指定管理	受益者負担	補助金	市民協働
		6,280	6,280					
23年度 事業費内訳 (単位:千円)	需用費	委託料	工事請負費	公有財産購入費	負担金補助 及び交付金	扶助費	その他	
	6,260						20	

◆事業内容(平成23年度に何をやるか)

市民、自治会、地域の森などに、樹木や生垣用苗木を交付する。
 ・生垣用樹木交付・一般樹木交付・緑地協定用樹木交付・地域の森づくり事業・誕生記念樹・結婚記念樹・屋上、壁面緑化・緑のカーテン

◆これまでの取組状況(平成22年度に何をを行い、その結果はどうだったか)

樹木の交付によって、緑に触れ育てる機会を通して市民の緑化普及意識を高めるとともに、着実に都市の緑化を推進するものとなった。
 ・生垣用樹木交付:4,894本 ・緑化樹木交付:2,057本 ・緑地協定用樹木交付:140本
 ・地域の森づくり事業:265本 ・誕生記念樹:626本 ・結婚記念樹:463本 ・屋上、壁面緑化:2件
 ・緑のカーテン:市民100件

補足シート2-③

	款	項	目	事項
予算コード	36	26	41	11 16

事業名：事業所緑化助成事業(補助金)

事業費 (予算) (単位:千円)	22年度 2,700	23年度 2,700	比較 0	施設管理	指定管理	受益者負担	補助金 ○	市民協働
23年度 事業費内訳 (単位:千円)	需用費	委託料	工事請負費	公有財産購入費	負担金補助 及び交付金 2,700	扶助費	その他 0	

◆事業内容(平成23年度に何をやるか)

緑により美しい景観形成や快適な労働環境づくりを推進しようとする民間事業者、事業所のうち、特に模範となるような緑化事業を行う者に助成金を交付し、事業所緑化を推進する。

◆これまでの取組状況(平成22年度に何を行い、その結果はどうだったか)

本事業によって確保する緑地を都市緑地や街路樹等の公共緑地で代替する場合には相当の費用が予想される。
民有地に対する緑化啓発と同時に、緑豊かなまちづくりの実現に貢献するという点において、助成に見合う効果は十分に得ている。平成22度は、助成金の効果により、3,186本の樹木を増やすことができた。

論点シート

事業番号	3 - 6	事業名	民有地緑化事業
部局	公園緑地部	所管課	緑政課
H23 予算	13,900 千円	所管課	改善（その他）
H22 予算	13,900 千円	一次評価	
評価対象事業についての論点等			
<ul style="list-style-type: none"> ・昭和 51 年度からの長期継続事業だが、民有地緑化はどのくらい進んでいるのか、これまでのトータルの実績はどれくらいか ・目指している民有地緑化の目標はあるか、あるとしたら現在のペースでの完了予測は ・行政手段として国が法律で一定規模以上の工場について緑化を義務付けているように、助成ではなく規制手段はとれないか ・補助金等を廃止した場合、民有地緑化は進まないのか、緑化に協力的な企業に対して金銭以外でインセンティブを与える方法はないか ・苗圃を市が持つ必要があるか、民間でやっていないか 			
評価対象事業についての二次評価			
<p>【再構築】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民有地緑化の手段として、より効果的、効率的な事業の再構築について検討すべき 			